

# 「企業活動の現状把握と対策検討」の「見える化」

企業活動には必ずこれらの特性を内包しています



資産工学研究所  
坂本善博 所長

- 強み** 自社の長所、特技やウリなど
- 課題** 今後対応しなくてはならないこと
- 問題** 現時点で困っていること

しかしこれらを『客観的』かつ『全社的』に認識するのは難しいので  
皆様も苦勞をなさっているのではないですか？



そうなんだよなあ

多くの場合はこの様に自分の職位や職制の範囲や知り得た範囲のレベルです

自分の部署しか  
分らないよ

あの人が  
言ってたなあ

そんな事は  
聞いた事がない



その知識の範囲内で局所的に努力する事が大半なので



知恵不足や資源不足で会社として十分な対応が取れないのです

こういったことに全社一丸となって効果的な対策を講じ、成果につなげる為に



『企業活動の現状把握と対策検討』の『見える化』ファシリテーションを行います

方法は次のページです



1. 社長以下全社の幹部社員を参加者として集めます (20名程度)

2. 模造紙を6枚程度壁に貼り付けその左側に会社の現状を評価する切り口をピンクの付箋紙で設定

『会社全体』『経営』『組織・体制』『商品』『市場環境』『販売』『生産』など15分野くらいになります

3. 参加者は左記切り口の中で自分の関係したり重視している分野について

強みを『○』、課題を『△』問題や弱みを『×』とつけて認識している内容を黄色の付箋紙に自由に書きます

4. それらをファシリテーターが集め模造紙に貼り付けて整理します

この時に出された内容を青の付箋紙で整理し、本質を炙り出します。この間約1時間です

5. 参加者が対応策を書きます

対応策には着手中を『◎』提案を『○』と記し、緑の付箋紙に書きます

6. ファシリテーターがこれらを現状の本質に対応する箇所に貼り付け

対応策を1時間程度で完成させます

7. 参加者に10枚程度の投票用紙を配布し、重要と思う本質に投票してもらいます

これにより多くの対応策の中での優先順位が合意されます

8. ファシリテーターは模造紙の内容をPCに入力し編集して

ナレッジシートとして参加者や関係者に配布します (○ページのナレッジシート参照)

この様な手順を約2時間行うことにより『見える化』が完成します

この効果は次のページです

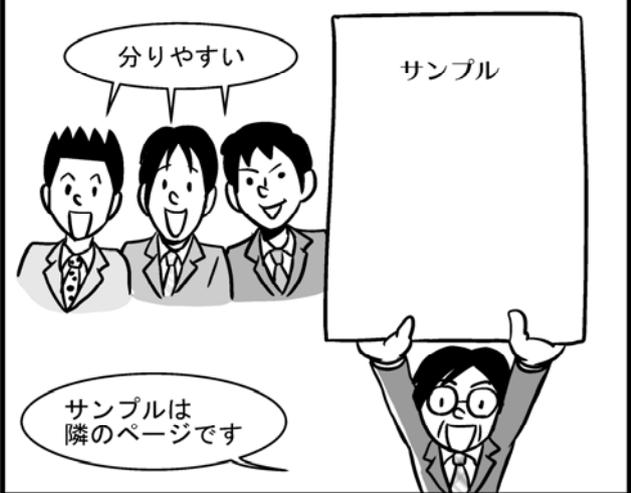
1. 社長以下全員が自社の現状を共通に認識し  
問題意識が統一できます



2. 会社として打つべき対策が一元化され  
優先度に基づいて全員が協力して  
取り組むことが出来ます



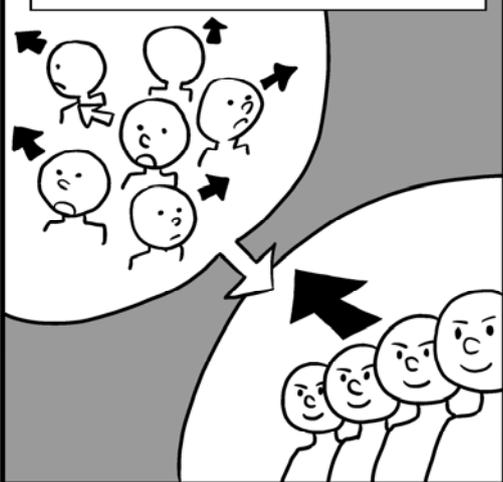
3. 対策状況のフォローもナレッジシートで  
一元化できるので、確実に成果につながります



またこの様な区分で  
行う事もできます



弊社ではこの手法で多くの企業の  
ベクトル合わせに協力してきました



特にワンマン企業の場合には  
直接提案出来ない現状を打破  
するのにも効果的です

